

4 B	通 年	機械製図	履修形態	全員選択
			履修単位	2
科目目標			教科書	7 実教工業302：機械製図
機械製図の基本的な知識を理解する。 ドラフターを用いた手描きによる作図技術を習得する。			副教材等	なし
			履修条件	特になし

学習内容

課題の作成を通して、機械製図の作図法を学ぶ。
ドラフターを利用した作図作業を中心に進めながら、図面の書き方や読み方を学ぶ。

評価方法	課題の提出状況、考査、授業中の姿勢・態度から総合的に判断します。
学習上の留意点	製図用具を持参すること。課題を中心に進めるので、遅刻・欠席をしないこと。

授業計画（学習内容・学習活動・ねらい及び評価のポイント）

期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい・目標
前期	4	図面に用いる文字と線の種類と用途	・規格に規定された文字や線の種類と用途について学ぶ。
	5	基礎的な図形のかき方	・平面図形のかき方は、全ての作図の基礎となるので、定規とコンパスなどを使って正確にかく方法を学ぶ。
	6	基礎的な作図	
	7	直線と円弧、円弧と円弧のつなぎ方	
	9	製図例2「線」	
後期	10	機械要素の製図	・機械要素の種類や特徴を学習し理解を深める。
	11	ねじの基本	・実際に作図することで図示法や略画法を習得する。
	12	ねじの製図	
	1	ボルト・ナット・小ねじ	・関連規格を理解する。
	2	止めねじ	・ボルト・ナット、歯車などの種類や名称・用途など関連知識を学ぶ。
3	製図例11「ボルト・ナット」		

学習評価の観点別規準と評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価基準	各種機械や部品の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心をもち、機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組もうとしている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握（分析）し、考察を深めるとともに、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、図面などを正しく読み、作成できる力を身につけている。	機械製図に関する基礎的・基本的な知識を理解し、各種機械や部品の製作に使用される図面等の役割や作図法などを身につけている。
評価方法	学習に必要なもの、ワークブック・製図道具などの準備状況の観察 学習状況の観察	学習状況の観察 ワークブックの提出の有無・内容 課題作品の内容 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークブックの内容 課題作品の内容 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークブックの内容 課題作品の内容 定期考査の結果

学習サポート

ドラフターを用いた手描きにより作図技術の習得を目標に行います。実技を伴う科目です。
指導に従い、製図に関する基礎的知識・技術の理解と習得を目標に行います。
指導に従い、定められた課題について、期限内に提出する必要があります。
欠席による作図面作成遅れ、製図用具の紛失による作図面遅れ、は評価を下げる原因となります。